

職員による自己評価

A環境面

現在の利用者に対しスペースが適切である。

B児童への支援内容

利用者のニーズや課題を分析し、特性に配慮した活動をしている。

C関係機関との連携

学校等との連携は不十分ではないか。

D保護者への説明責任・信頼関係

電話にてよく話を聞くようにし、日々の様子についてよく連携を取るようにしている。
非常勤とコミュニケーションが取れる機会を増やした方がいいのではないか。

E非常対応

避難訓練の実施がなされている。
緊急のマニュアルの周知がされていない気がする。

保護者による評価

A環境面

スペースは十分に確保されている。
エレベータなどの設置がされている。

B児童への支援内容

活動内容に満足している。
地域や他の児童クラブとの交流はない。

C事業所からの情報発信

保護者会はとても有意義な時間で通所している友達について聞くことができた。
事業所がよく電話をして今日の様子を教えてくれるので感謝しています。

D非常対応

緊急時・防犯について不明な点がある。

事業所内での分析

【共通点】

療育に関しては高評価である。
災害や緊急時・防犯などの安全面の周知が不明確である。
保護者対応に関しても高評価をいただいている。

【相違点】

避難訓練が実施されているが、保護者への周知がなされていない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

活動内容に関しては高評価をしていただいている。
保護者会の実施が今年はなされていないものの、毎年行うことが出来ており、保護者の連携もしっかりとれている。
指導員の保護者からの評判がとても高く、いつも頼れる事業所になれている。

事業所の改善点

避難訓練の実施をもっと周知することはできないか。
緊急マニュアルの周知をどうすれば全員に行うことが出来るのか。

事業所の改善への取り組み

避難訓練の実施を半年に一回行い、色々な曜日で行うことによって、全児童が1度は参加できるように調節をする。
緊急時マニュアルを利用開始の時に渡すことによってマニュアルの周知をする。その他のマニュアルに関しても保護者、職員への周知を心がける。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～